

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実							
施策	04 市街地整備の充実							
基本事業	03 安全で憩える公園の整備							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公園・緑地

手段（事務事業の内容、やり方）

施設の管理運営を指定管理者に委任する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・管理運営を適切に行い、快適で安心して憩える公園・緑地にする。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	公園緑地数	箇所	228	228	228	228
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	136,407	134,342	142,279	149,498
活動指標2						
成果指標1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	177,929	176,703	192,621	195,789
正職員人件費(B)		千円	7,223	6,413	13,673	13,692
総事業費(A+B)		千円	185,152	183,116	206,294	209,481

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 遊具等の公園施設修繕 樹木剪定（危険木、高木） 他 公園砂場砂入替、公園ベンチ及び外柵改修 	<ul style="list-style-type: none"> 一般委託料 142,279千円 施設等修繕費 11,000千円 維持補修関係委託料 17,499千円 維持補修関係工事費 12,149千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<p>市民の公園管理に関する質的要求は高くなり、厳しい財政状況の下、従来の公園管理の方法では、限界に来ている。 今後ますます時代に適合した市民と行政の役割分担が求められてくる。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
都市公園法第二条の三（都市公園の管理）都市公園の管理は、地方公共団体の設置に係る都市公園にあっては当該地方公共団体が行う。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
本事務事業の実施は、公園緑地の持つ、安全、安心、やすらぎと言った効用を発揮させ、市民に憩いの場を提供することとなり、公園の満足度と言った基本事業の成果に寄与し、基本事業への貢献は大である。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
現在の維持管理費水準を堅持すれば、成果を維持出来るものと考えているが、今後、老朽化による遊具修繕が増加しているため、コストは増加していくものと思われる。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
公園維持管理等への市民協働（アダプト）が充実できれば向上の余地は中位と言える。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
効率的な維持管理を行っているため、これ以上のコスト削減は難しい。	